

第2 歯科口腔保健

本市では生涯を通して口腔の健康を保持するために、関係団体の協力を得て、各種事業を行っている。

1 個別健診・個別指導及びう蝕予防処置

(1) 個別健診・個別指導

(単位：人)

区分 \ 年度		30	令和元	2	3	4
乳幼児	1歳6か月児	2,970	2,912	2,830	2,547	2,503
	3歳児	3,135	2,996	2,946	2,787	2,683
	2歳児	493	432	413	312	275

・1歳6か月児健診の結果をもとに抽出した幼児を対象に、2歳児健診を平成20年度から開始した。

(2) 予防処置（フッ化物の局所塗布）参加人数

年度	30	令和元	2	3	4
人数	3,411	3,276	3,180	2,814	2,707

・1歳6か月児健診（平成18年度から開始）等の際に実施。

2 1歳6か月児及び3歳児歯科健診

・う蝕罹患型分類 う蝕の罹患部位によりその重篤度を表している。A<B<C

A型 ----- 上顎前歯部のみ、または臼歯部のみとう蝕のあるもの

B型 ----- 臼歯部及び上顎前歯部とう蝕のあるもの

C型 ┌----- C1型 --下顎前歯部のみとう蝕のあるもの

└----- C2型 --下顎前歯部を含む他の部位とう蝕のあるもの

1人平均う蝕数 受診者全員のう蝕の合計／受診者数

う蝕有病者率 (1本以上う蝕をもつ者の数／受診者数)×100

(1) 1歳6か月児歯科健診結果

年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	1人平均 う蝕数(本)	う蝕有病 者率(%)	う蝕罹患型分類(%)			処置歯率 (%)	歯列不正 (%)
					A	B	C		
30	3,154	2,970	0.07	2.8	2.7	0.2	0	3.7	18.1
令和元	2,958	2,912	0.04	1.5	1.4	0.1	0	0	18.4
2	2,912	2,830	0.03	1.1	1.1	0.04	0	0	18.1
3	2,609	2,547	0.03	1.1	1.0	0.1	0	4.2	21.6
4	2,544	2,503	0.02	0.96	0.9	0.08	0	0	17.7

(2) 3歳児歯科健診結果

年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	1人平均 う歯数(本)	う蝕有病 者率(%)	う蝕罹患型分類(%)				処置歯 率(%)	歯列不 正(%)
					A	B	C1	C2		
30	3,205	3,135	0.66	18.5	12.9	4.4	0.1	1.2	19.3	31.8
令和元	3,110	2,996	0.63	19.1	12.8	5.4	0.2	0.7	20.0	38.7
2	3,026	2,946	0.59	19.2	14.0	4.1	0.1	1.1	15.0	44.3
3	2,909	2,787	0.46	15.0	11.1	3.2	0.1	0.7	14.8	42.4
4	2,783	2,683	0.44	14.4	10.8	3.0	0.1	0.4	14.8	49.3

3 歯育て健診

平成13年度から、地域のかかりつけ歯科医との連携による、幼児期からのむし歯予防習慣の定着を目的とした標記事業を開始した(委託)。

年度	30	令和元	2	3	4
参加者数(人)	1,114	1,186	1,118	1,120	879
受診率(%)	37.5	40.7	39.5	44.0	35.1

4 健康教育参加者

(1) 妊産婦対象の健康教育事業

平成18年度から、妊産婦及びその生まれてくる子どもの口腔保健の向上を目的に、妊産婦歯科保健事業(歯っぴいベビー)を開始した(委託)。

年度	30	令和元	2	3	4
参加者数(人)	538	428	41	30	28
回数(回)	59	49	11	7	11

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施場所が、1か所となった。

(2) 小児対象の健康教育事業

1歳6か月児健診前に、正しい歯科保健の情報を伝え、乳幼児のむし歯予防を図るために、「むし歯予防教室」を平成13年度から開始した。平成20年度からは、実施場所を各総合事務所へ拡大した。

	年度	30	令和元	2	3	4
むし歯予防教室 (歯科予防教室)	実施回数(回)	22	17	14	19	17
	参加者数(人)	409	290	224	214	201
その他の小児対象教室	実施回数(回)	16	25	18	15	25
	参加者数(人)	789	725	330	332	648

(3) 成人・高齢者対象の健康教育事業

令和3年度から、地域における成人と高齢者向けに口腔ケアや口腔機能維持についての教室を開始した。

年度	3	4
実施回数(回)	10	12
参加者数(人)	156	228

5 フッ化物洗口推進事業

こどものむし歯予防に有用なフッ化物洗口(うがい)を、市内の保育所、幼稚園、認定こども園、小・中学校等で実施することを推進するため、その実施施設及び学校に必要な薬剤及び消耗品を支給する。平成29年度から私立施設については、支援方法を補助金の支出に変更した。

実施状況 実施施設数/施設数(箇所数)

年度	保育所・幼稚園・認定こども園	小学校 ^{※2}	中学校 ^{※2}
30	99 ^{※1} /149	69/69	11/39
令和元	104 ^{※1} /146	69/69	17/40
2	104 ^{※1} /145	68/68	37/39 ^{※3}
3	100 ^{※1} /145	68/68	36/38 ^{※4}
4	99 ^{※1} /144	68/68	37/37 ^{※5}

※1：独自実施施設(実施施設はアンケート、聞き取り調査結果による)を含む。

※2：小・中学校は市立の学校で分校を含む。

※3：39校中1校は、令和2年度閉校の為、実施無。

※4：38校中1校は、令和3年度休校の為、実施無。

※5：令和4年度、南中閉校

6 歯と口の健康週間イベント

毎年6月4日から10日までの歯と口の健康週間(旧：歯の衛生週間)の日曜日に、本市と長崎市歯科医師会が主催し、情報周知を中心としたイベントを行い、市民の歯科口腔保健の推進に努めている。

年度	30	令和元	2	3	4
参加者数(人)	2,100	2,500			-
実施場所	JR長崎駅前 かもめ広場	JR長崎駅前 かもめ広場	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	ベルナード観光通り・市立図書館にてパネル展示

7 研修（健康教育）事業

歯科口腔領域での多職種連携を図るため、平成 23 年度から 27 年度まで口腔ケア研修会を、平成 28 年度から障害者・要介護者の看護・介護にかかわる多職種が共に研修する形態（歯科保健医療サービス提供困難者への歯科保健医療推進事業）に変更し実施した（委託）。

	年度	30	令和元	2 [※]	3	4
研 修 会	実施回数（回）	6	6	0	5	5
	延参加者数（人）	526	586	—	528	410

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により研修会は中止した。

8 成人歯科健診

(1) ママの歯っぴいチェック（個別、妊産婦歯科健診事業）

平成 21 年度から、妊婦及び産婦の口腔の健康と健全な出産を支援することを目的とした標記事業を開始した（委託）。なお、この健診では参加者の同伴幼児の保育も行っている。

年度	30	令和元	2	3	4
参加者数（人）	1,169	1,053	1,008	1,092	1,174
妊婦/産婦（人）	622/547	599/454	581/427	667/425	713/461
受診率（%）	21.3/18.5	21.4/16.6	21.4/16.8	26.6/16.5	30.5/19.3
保育件数	56件(66)	43件(45)	14件(14)	18件(18)	25件(32)

() 被保育児の人数

(2) 歯周疾患検診事業（個別）

平成 15 年度から 40 歳及び 50 歳の方を対象に、標記検診を開始した（委託）。平成 17 年度 60 歳及び 70 歳、20 年度 30 歳、21 年度 80 歳、23 年度 20 歳、24 年度 25 歳・35 歳に対象年齢を拡大した。平成 26 年度から、20 歳以上の禁煙を希望する喫煙者を追加した。

参加人数と受診率

年度	30	令和元	2	3	4
参加者数（人）	1,105 [※]	1,159	1,117	1,440	991
受診率（%）	2.5	2.7	2.7	3.4	2.5

※喫煙者各 1 名含む

40・50・60・70 歳のみ（再掲）

年度	30	令和元	2	3	4
参加者数（人）	1,055	1,108	1,075	1,394	946
受診率（%）	4.3	4.6	4.7	6.1	4.3

(3) 集団歯科健診

平成 26 年度から歯科健診受診の機会を増やすため、特定健診等会場で集団歯科健診を開始した。

会場	30		令和元		2 ^{※2}		3 ^{※2}		4 ^{※3}	
	実施回数	参加者数(人)	実施回数	参加者数(人)	実施回数	参加者数(人)	実施回数	参加者数(人)	実施回数	参加者数(人)
特定健診等会場 ^{※1}	10	349	8	225	4	202	7	313	8	202
大学等	1	22	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	371	8	225	4	202	7	313	8	202

※1 国民健康保険事業（国保集団歯科健診）、歯周疾患検診事業（健康づくり課 集団歯科健診）

※2 令和2,3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により歯科健診の実施が困難であったため、特定健診等受診者を対象に歯科保健指導を実施した。

※3 令和4年度の特定健診等会場実施、集団歯科健診について

長崎市民を対象とした、長崎市歯科疾患実態調査[参加者：330名（特定健診会場を含む）]、歯科疾患実態調査（国）[参加者：5名]を実施した。また、健康づくり課歯周疾患事業においては、歯科保健指導を実施した。[参加者：38名]

9 障害者・高齢者歯科保健事業

歯科衛生士による訪問口腔保健指導

平成5年度から老人保健事業の一環として開始したが、平成22年度からは対象者を寝たきり者及び障害のため歯科保健医療を受けることができない者に変更し、実施している。

年度	30	令和元	2	3	4
実施者数(人)	4	1	1	0	1

資料 学校歯科保健(長崎市立小中学校歯科疾患診査結果、資料提供:長崎市教育委員会)

(1)永久歯う蝕有病者率(う蝕有病者数/被検者数、%)

年度	小学校(%)						中学校(%)		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
30	5.6	10.3	12.7	18.2	20.8	27.0	31.1	34.8	40.4
令和元	4.2	12.3	14.8	18.2	22.2	27.0	29.6	34.8	42.1
2	3.1	5.5	12.3	18.3	16.9	25.3	30.5	38.3	39.8
3	2.8	4.9	8.8	16.7	19.8	20.4	26.7	33.3	39.1
4	2.0	4.5	8.0	12.7	18.8	21.8	26.2	33.6	39.3

注:全国平均12歳 28.33%(文部科学省「令和3年度学校保健統計調査」)

(2)永久歯一人平均う歯数(う歯総本数/被検者数、本)

年度	小学校(本)						中学校(本)		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
30	0.1	0.2	0.2	0.4	0.5	0.6	0.9	1.1	1.6
令和元	0.1	0.2	0.3	0.3	0.5	0.6	0.8	1.1	1.6
2	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4	0.6	0.8	1.2	1.5
3	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4	0.6	0.9	1.3
4	0.03	0.07	0.1	0.2	0.4	0.5	0.6	1.0	1.3

注:全国平均12歳 0.62本(文部科学省「令和3年度学校保健統計調査」)